

会 議 録

会議の名称	平成23年度第2回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成23年10月17日(月) 10時00分開会 12時10分閉会
開催場所	7階第5委員会室
議長(委員長・会長)	会長、副会長
出席者(委員)(人数)	18名
欠席者(委員)(人数)	3名
事務局職員職人数	森部長、福島副部長、島田参事、奥富参事、田中参事、川野課長、益子課長、百瀬副課長、小峰副課長、波田野主査、阿部主査、岡田主任
傍聴人(人数)	2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回審議会における質問事項に対する回答 (2) 平成22年度減量施策の取り組みについて (3) 川越市のごみ処理経費等について (4) ごみ有料化の現状と今後の展開① 4. その他 5. 閉会
配布資料	<p>会議次第</p> <p>川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿</p> <p>減量施策の結果について(資料1)</p> <p>川越市のごみ排出量の推移(資料2)</p> <p>全国都市家庭ごみ有料化実施状況(資料3)</p> <p>全国市町村の有料化実施状況(資料4)</p> <p>一般廃棄物処理有料化の手引き(資料5)</p> <p>川越市のごみ処理事業費(資料6)</p> <p>家庭ごみ処理の有料化について(資料7)</p> <p>川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(貸出用)</p> <p>市民アンケート結果報告書(貸出用)</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会	<p>定刻となりましたので、第2回川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。</p> <p>審議会委員の皆様には、大変お忙しい中、本審議会にご出席くださいます。ありがとうございます。</p> <p>私は、本日司会を担当いたします、資源循環推進課副課長でございます。よろしくお願いいたします。</p>
出欠の確認	<p>本日の出欠でございますが、3名の委員さんが欠席となっております。</p>
司 会	<p>本日は、21名の委員さんの内、18名の委員さんにご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、当審議会の会長の会長さんにごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
会 長	<p>【会長挨拶】</p>
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の提出資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 ・ 減量施策の結果について（資料1） ・ 川越市のごみ排出量の推移（資料2） ・ 全国都市家庭ごみ有料化実施状況（資料3） ・ 全国市町村の有料化実施状況（資料4） ・ 一般廃棄物処理有料化の手引き（資料5） ・ 川越市のごみ処理事業費（資料6） ・ 家庭ごみ処理の有料化について（資料7） ・ 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編（貸出用） ・ 市民アンケート結果報告書（貸出用） <p>不足書類がある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
司 会	<p>それでは、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定</p>

	<p>に基づき、会長さんに議長となっただき、議事を進めていただきたいと思います。会長さん、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、ただ今から、議長を努めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>本日、傍聴の希望者が2名いらっしゃいます。会議は原則公開となっておりますが、みなさんよろしいでしょうか。</p> <p>また、次回審議会からにつきまして、傍聴の希望者がいらした場合には、審議会開会より傍聴を許可させていただいてよろしいか併せてお聞きいたしますが、いかがでしょうか。</p>
審議員	<p>【異議なし】</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、傍聴を許可させていただきます。</p> <p>【傍聴人2名入室】</p>
議長	<p>それでは、議事に入りたいと思います。まず、議題（1）第1回審議会における質問事項に対する回答を事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>第1回審議会における質問事項に対する回答についてを、資源循環推進課長よりご報告いたします。</p>
資源循環推進課長	<p>第1回審議会における質問事項に対する回答を報告</p>
議長	<p>何か、ご質問などございますでしょうか。</p>
審議員	<p>回答の中で、一人当りの負担についての回答がありましたが、今後川越市で有料化を検討していく中で、先ほどありました内容はとても重要だと思いますので、口頭だけではなく、資料として提示していただくのは可能でしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>次回、第3回以降の審議会でご提示していきたいと考えております。</p>
議長	<p>続きまして、議題（2）平成22年度減量施策の取り組みについてを、事務局よりお願いいたします。</p>

事務局	平成22年度減量施策の取り組みについてを、資源循環推進課主査よりご説明いたします。
資源循環推進課長	平成22年度減量施策の取り組みについてを説明。
議長	何か、質問などございますでしょうか。
審議員	<p>減量施策についてですが、布類の拠点回収を年2回実施しており、拠点のステーションを見るとかなりの布類が出ているように思われます。私が布類等を扱う業者等に話を聞くと、川越市は可燃ごみの中の布類の含有率が高いと聞いています。他市ではどのくらいの含有率で、川越市での含有率がどのくらいか教えてほしい。また、収集方法等の問題はありますが、もう少し布類を資源化できれば、リサイクル率は良くなると考えています。</p> <p>もうひとつ前回リサイクル率を上げたいとのことでしたが、紙類はいろいろな紙が排出されるので、紙類のリサイクル率を上げるには、現状のごみの中に、リサイクル可能なものが何パーセント、不可能なものが何パーセントあるかといった資料を出していただければと思います。</p> <p>もうひとつ、家電45品目について、現在川越市では破碎して埋め立て等をしてると思いますが、こういったものをどうリサイクルに回せるかといった方法等を考えていただきたいと思います。</p>
資源循環推進課長	<p>ご意見の中にございました資料につきましては、次回ご用意したいと考えておりますので、お時間いただきたいと思います。</p> <p>布類につきましては、以前より市民の皆様よりご意見いただいておりますが、現在、拠点回収を実施しており、環境推進員の皆様には大変お世話になっております。また、収集経費の面については、本日、お答え出来ると思いますが、ごみへの含有率については、調査をいたしまして次回、お示ししたいと考えております。</p> <p>次に紙類にですが、再生に向かない紙類、再生に向いているが事業系や家庭系のごみに入っているものがあります。具体的な数字につきましては、調査しまして、次回に出来る限り示していきたいと考えております。</p> <p>次に家電・小型家電ですが、大型のテレビ等の特定品目については、家電リサイクル法にて処分をしており、小型家電は不燃ごみとして処理しております。現在、国ではレアメタル等の希少金属を扱える企業と連携を図り、レアメタル等が国内から流出しないような仕組み作り</p>

<p>審 議 員</p>	<p>を検討しているところなので、市としましても国の動向を注視しながら、回収方法について検討していきたいと考えております。</p> <p>今日の資料を見させていただいて、私たちはごみ減量を声高に言っているように感じます。ところが資料の実績については下がっているような気がするのですが、この理由について教えて下さい。</p>
<p>資源循環推進課主査</p>	<p>集団回収についてですが、私たちの方でも調査をしたことがあるのですが、一番の理由に新聞を読まなくなったことがあります。また、10年ほど前と比較して新聞枚数が減っていることや広告の枚数が減っていることも影響しているようです。さらに、新聞屋さんのサービスで自宅前に新聞等を置いておくと回収してくれるということを実施しているので、市の回収等には回ってきていないとのことが上げられます。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>ごみの減量施策を実施しているのは良くわかりますが、身近な方に有料化について聞いてみますと、財源がほしいのだからしょうがないという意見がほとんどです。また、発生抑制についてはもっとアピールをしていただいた方が良いと思います。あと、かわごえ環境推進員について、平成22年度には863名を委嘱していますが、かわごえ環境推進員の仕事を教えて下さい。</p> <p>抑制についてですが、広報において毎月经費等に関することを掲載して、減量や抑制についても掲載しておりますが、先ほどご指摘ありました混入ごみ等も多いので、今後もトピックスを続けてまいります。啓発が一番だと考えておりますので、混入や減量等をお願いをしていきたいと考えております。それでもということであれば施策として有料化ということもあるかと考えております。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>かわごえ環境推進員については、自治会より推薦を受け委嘱しております。仕事の内容としましては、自治会のリーダーとしてごみの分別や集積所の管理等を行っております。事例として高階地区では駅前での路上喫煙防止の啓発ティッシュ配布活動や名細地区では、マイバックキャンペーン活動等を実施しています。各自治会において代表推進員さんがいて、さらに代表推進員さんの中から構成する推進員協議会の中で減量等の委員会を設置して活動しております。また、協議会の中の広報委員会において、環境推進員の活動等を紹介する「環境推進員だより」という広報誌を発行しています。</p>

審 議 員	<p>環境推進員さんは市から委嘱されており、市及び地区とも密接になっていると思いますので、推進員さんには、違った面で抑制についてもっと啓発していただければ良いかと思います。</p>
審 議 員	<p>一つ目として、集団回収の目標値について、目標値を下げるということは考えていないのでしょうか。</p> <p>二つ目として、事業系の草木類については、平成21年度実績が0tになっていますが、なぜなのか教えてください。</p> <p>三つ目として、コミュニケーションの出前講座において、平成18年度と平成22年度を比べると、すでに周知徹底はされていると考えてよろしいのでしょうか。</p> <p>最後に、多量排出事業者に対して依頼をとありますが、依頼の効果についてはいかがなのでしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>目標値につきましては、目標値自体が前回のごみ処理基本計画の目標値でありますので、平成22年度にて終了となりますが、今後は、施策の効果等については、資料にて示していきたいと考えております。</p>
資源循環推進課主査	<p>草木類につきましては、平成18年から20年にかけて西清掃センターにおいて草木類をチップ化したものを配布しておりましたが、平成21年度につきましては、平成22年度より資源化センター稼働により、平成21年度は狭間ということでチップ等の配布は実施いたしませんでした。</p> <p>出前講座につきましては、市内小中学校へ出向き講座を実施しているところではありますが、平成22年度については、環境プラザ（つばさ館）が開館したことで、つばさ館へ実際に見学に来るといった方へシフトしたと考えられ出前講座の回数等が減少したと考えております。</p> <p>多量排出事業者については、年4事業者に対して実施をしているところで、目に見えた効果等はありませんが、毎年、違った事業者に対して実施を行っているところなので、徐々に効果が見られてくると考えております。</p>
審 議 員	<p>集合住宅における生ごみ処理事業の拡充について、具体的にどのような内容で実施しているのかを教えてください。</p> <p>もうひとつ、家庭系草木類のチップ化等について、平成19年度には、32件の貸出がありましたが、平成22年度には、3件の貸出になっているので、このへんの状況を教えてください。</p>

資源循環推進課主査	<p>こちらは、月吉町の集合住宅にJ Aが設置いたしました業務用の生ごみ処理機にて、各家庭の方たちが生ごみを処理機に投入しまして、堆肥化をしております。堆肥化したものについては、福原地区の農家さんに市職員が搬入をして利用していただいております。市としては処理機の電気代や保守点検費を負担しております。また、この事業は他の自治会等への普及を目的としたモデル事業として実施しております。</p>
資源循環推進課副課長	<p>こちらの貸出の粉砕機については、自治会連合会より寄付としていただいたものであります。貸出方法としては、ご依頼の方がトラック等で粉砕機を運搬し、1週間程度貸出をしているものであります。</p> <p>貸出件数については、平成22年度より資源化センターにて、草木類資源化施設が稼働となりまして、早く草木類を処分したいなどの理由により施設への持ち込みが増えたことにより粉砕機の貸出件数が減少したと考えております。</p>
審 議 員	<p>川越市のごみ排出の推移の平成22年度ごみ排出量1人1日当りの量が820gとなっておりますが、ごみ処理基本計画の50ページの減量・資源化の目標で、平成27年度が1人1日当りの目標が880g以下に対して目標が達成されていると考えてよろしいのでしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>平成22年度の1人1日当りの排出量820gについては、平成27年度が1人1日当りの目標が880g以下に対して目標を達成していると考えております。</p>
議 長	<p>続きまして、議題(3)川越市のごみ処理経費等についてを、事務局よりお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>川越市のごみ処理経費等についてを、資源循環推進課長よりご説明いたします。</p>
源循資源推進課長	<p>川越市のごみ処理経費等についてを説明。</p>
議 長	<p>何か、質問などございますでしょうか。</p>
審 議 員	<p>収集部門について、直営と委託でやられていると思うのですが、直営・委託それぞれの1t当りの経費を教えてください。</p>

収集管理課長	直営・委託それぞれの1 t当りの経費につきましては、粗大ごみと布類を差し引いた部分で、直営については37,155円、委託については18,321円となっており、直営が委託の約2倍となっております。
審議員	川越市としては、直営が委託の2倍になっていることについてどうお考えでしょうか。
収集管理課長	直営と委託の違いですが、まず収集区域から申し上げますと、直営は本庁区域を担当し、委託は出張所区域を主として担当しております。直営の本庁区域はかなり入り組んでおり、道路状況に違いがあります。次にごみの量ですが、出張所区域の方が、本庁区域より1.5倍程度重くなっております。また、人件費につきましては、委託は効率を重視しており乗員を2名としおります。直営は安全性や安定性、確実性など事業の確実な執行から運転手1名、作業員2名の計3名となっており、これらのことが影響しているものと考えております。
審議員	計算されていれば教えていただきたいのですが、直営の3名乗車を2名乗車にした場合の試算はされているのでしょうか。
収集管理課長	試算の方はしておりません。
審議員	委託の場合は出張所区域なので2名で実施、直営の場合は本庁区域で入り組んだ区域等の理由により3名で実施しているということですが、私の区域の周辺では2名で実施が多く、3名で実施の場合、人件費が現状でも多く掛っているということは分かるのですが、委託の場合、作業員さんに保険は掛っているんだと思いますが、その費用は別なのでしょうか。
収集管理課長	委託については、保険料も含んだ形で委託をしております。
審議員	直営の場合、保険料は経費の中に入っておらず、別で計算されているのでしょうか。
収集管理課長	直営の場合、経費の中に車両の保険が含まれております。また、作業員のけが等については、公務災害において対応をしております。
審議員	直営というのは、働いている方は公務員の方でしょうか。

収集管理課長	直営というのは、市の職員が収集を行っているものです。
審 議 員	委託費の中の人件費部分の割合を教えてください。次に直営の場合には国の安全作業基準にもあるように安全配慮しておりますが、委託に対して市として配慮は行っているのでしょうか。
収集管理課長	業務への配慮につきましては、直営も委託も行っております。直営については、安全作業基準をもとに行っており、委託については、具体的には委託業者に任せている状況です。
審 議 員	直営の人件費と委託の人件費の比較については、次回等で示していただければと思います。
収集管理課長 資源循環推進課長	次回用意させていただきたいと思います。 1点訂正で、資料2のごみの排出量で委員さんより指摘のございました点ですが、この資料については、このクリーム色の冊子が出る前の緑色の冊子の内容ですので、次回詳しく資料を出したいと考えており、緑色の冊子の時は集団回収量がリサイクル量に入っておりまして、クリーム色の冊子52・53ページをご覧くださいと、今回の1人1日当りのごみ排出量については、集団回収も含めた数値で見たいということになりますので、比較したものについては、次回ご提示していきたいと考えております。
審 議 員	みどりの冊子とはなんでしょうか。
資源循環推進 課主査	大変申し訳ありませんでしたが、クリーム色というのは、今年3月に新しく作成いたしました、川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編でありまして、緑色というのは前回の川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編ということですので、よろしく願いいたします。
議 長	続きまして、議題（4）ごみの有料化の現状と今後の展開①についてを、事務局よりお願いいたします。
事 務 局	ごみの有料化の現状と今後の展開①についてを、資源循環推進課主査よりご説明いたします。

資源循環推進 課主査	ごみの有料化の現状と今後の展開①についてを説明。
議 長	何か、質問などございますでしょうか。
審 議 員	まず1つは、埼玉県内で3市が有料化を実施しているが、それぞれ何年間ぐらい実施しているのか、もう1つ、有料化を実施した経験でのひづみや問題点等については、調査等を行っているのでしょうか。
資源循環推進 課主査	これは山谷教授の資料にてそれぞれの有料化開始時期があるのですが、秩父市は1996年7月に公益事業組合にて実施しております。続きまして蓮田市ですがこれも公益事業組合にて2000年4月より実施しております。幸手市につきましては、2006年10月より実施しております。この3市につきましては、先程もお話にありましたアンケートにて照会を行っており、このような内容を調査しておりますので、結果については、次回に報告させていただきと思います。
審 議 員	先程、アンケート調査を実施しており、次回に報告ということでしたが、知りたいことは、有料化を実施してどの程度減量化をされたかということアンケートにあれば良いのですが、リバウンド効果ということも資料にあり、蓮田市は記載されておりますが、埼玉県内の秩父市、幸手市についても調べていただきたいと思います。もう一つ、手数料の設定の(3)で、周辺市町村における手数料の料金水準の考慮とありますが、中核市の川越市が有料化を実施すれば周りの市町村へごみを出勤時等に出されてしまうということもあるみたいなので、その辺に関することも調査していただければと思います。
資源循環推進課長	不法投棄の関係になると思われませんが、このことについては調査をしておりますので、次回にはご報告させていただきたいと思います。
審 議 員	聞き漏れてしまったかもしれないのですが、前回の会議録の中にあっただと思うのですが、有料化をした場合に1人当たり年間で約5,000円程度の費用とありましたが、1人当たりなのでしょうか。
資源循環推進課長	1人当たりではなく、1世帯当たりになります。
審 議 員	感想を述べさせていただきたいのですが、このようなたくさんの資料をまとめていただくと、やはり多少の負担があっても有料化をして

<p>資源循環推進課長</p>	<p>きちっとに収集していただくのが良いかと思いました。すごく大変な作業が起こるんだなと感じています。簡単に有料化するということを言っただけではいけないんだと思いました。先程、不法投棄の問題と駅に家庭ごみを持って行ってしまうことがありましたが、今駅では危険物の関係もありごみ箱を設置していないが、家庭ごみを駅に持って行ってしまうということが話題に上ってしまうという状況なので、周りの市町村への影響が出た場合に、市としてはどう処理していくのかという問題が出ると思います。だからできれば周辺市町村に対しても積極的に有料化を働きかけた方が良いのではないかと思いました。</p> <p>川越市は検討を始めている、坂戸市は別の形ではありますが実施しているという状況ですが、協議を深めていくということでやっていきたいと考えております。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>今ご説明いただいた内容については、時間の関係もありますので、次回もご質問させていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>次回ということで、減免に関して高齢者世帯も検討課題にありますが、今年3月に作成した、川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編の10ページに65歳以上の老年人口は約20.5%となっておりますので、今後については、高齢者の方も増加する傾向にありますし、高齢者の方が裕福かという点、若い人よりはお金はあると思いますので、これからの検討課題ですが、高齢者世帯を減免するのはどうかと思いました。</p>
<p>議 長</p>	<p>他にご質問ございますでしょうか。ないようでしたら、以上をもちまして議事を終了いたします。</p> <p>続きまして、次第4その他について、事務局ありますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>次回の第3回審議会は、11月14日（月）に、環境プラザ（つばさ館）において開催を予定をしております、通知文は、後日郵送いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、当日は、市役所よりマイクロバスを用意しておりますので、ご希望の委員さんにつきましては、事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これもちまして議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

会 長	それでは、閉会のあいさつを副会長よりお願いいたします。
副 会 長	ありがとうございました。以上をもちまして、本審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。